

## バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No.128

SABS Journal No. 128

発行日：2021年10月14日

\*URL\*：<http://sabsnpo.org>

当 SABS ジャーナルでは、故奥山典生東京都立大学名誉教授が 2015 年 6 月 13 日のご逝去直前まで毎回様々な分野にわたり溢れる蘊蓄を披露されて居られました。その後、奥山先生のご遺志を継いだ我々が当協会を続けさらに発展させて行くため、毎月の定例会を継続して来ました。定例会ではこれ迄通り専門家の方々に話題を提供して頂き、自由な討論を通じて勉強と親睦を深めて来ています。

前号 (No.128 号外)では 10 月 16 日に定例会を開くというお知らせでした。

その後も新規感染者数は減る一方です。ぜひ多数の方々のご出席を願うばかりです。

今考えると 6 月当時東京の感染者数は 1 日 500 人近く居たのに緊急事態宣言は出ていませんでした。その後 6 月末になって少しずつ感染者数が増え始め 7 月半ばには緊急事態宣言が出ました。正にオリンピック開幕の頃です。そして Covid19 は我が国でもインドから発生した感染力が 1000 倍を超えるといわれる  $\delta$ -株が従来型 (武漢株など) をほぼ 100% 駆逐して大変な勢いで感染を広げました。遂に 8 月半ばには遂に 6000 人近い感染者が出る始末となりました。それにも拘わらず昨年延期したオリンピックとパラリンピックは開催されました。その是非はともかく緊急事態宣言はその後何度も延長され 9 月 30 日までとなりましたが、遂に宣言は解除されました。その後人出はどんどん増える一方新規感染者数は毎日減り続けました。出遅れたワクチン接種はその後どんどん進んでいます。

幸いここ数週間、東京などでは一日の感染者数が急激に減りつつあります。8 月半ばころの感染者数は 5000 人強だったことを考えると劇的に減少したわけです。

テレビや新聞で感染症専門家たちは次の第 6 波が来るかもしれないから自粛を緩めないようにと警告しています。人出は宣言中もどんどん増え、解除後は更に増えていたので、我が定例会を開く「人出」でも悪名高い渋谷では残念ながら中止せざるを得なくなったわけでした。

さてバイオの話題です。今年のノーベル賞は 3 賞ともバイオに関係しています。

まずノーベル医学生理学賞者は結局 mRNA ワクチンではなく痛みセンサの発見者に授与となりました。この分野は大変興味深いのですが今回は勉強不足で残念ながらご紹介できません。

その後の物理学賞は異例の地球物理学の人々に授与されました。真鍋淑郎博士は 1958 年に東大で学位取得後すぐ渡米しコンピュータを駆使して自ら編みだした海水温度などを使って気候変動を予測する計算式で計算を積み重ね地球温暖化を予測したという功績が認められたということです。本ジャーナルでも地球温暖化についてはこのところ殆ど毎号採

り上げてきましたが、この受賞は「温暖化はウソ」と主張してきた米大統領が未だ現役だった頃に決ったようでスウェーデンアカデミーの心意気を感じられます。かなり以前からスウェーデン出身の少女が CO<sub>2</sub> 削減の世界的な運動を率いていることも大いに関係していると思われます。今年 90 歳の真鍋博士は米国籍をとった理由について研究環境として「周りに気にせず自由に議論が出来る」ことと余りにも貧弱な最近の日本の基礎研究予算など、そして若い研究者の待遇の酷さなど、これまで日本人受賞者が最近例外なく言っておられたことを本ジャーナルでも度々紹介してきましたが、改めて痛感します。

化学賞は有機触媒の研究に与えられました。受賞者の一人 Benjamin List はドイツ人ですが 2000 年に La Jolla の Scripps Institute で Proline が Aldolase 反応の触媒として働くということを発見したことが端緒となって発展した分野です。酵素反応は立体異性体をキチンと区別するのが特徴ですが、ほぼ同じころこれまでの非酵素キラル触媒が全て金属を含んでいたのを David MacMillan が窒素を含む環状化合物で良く似た電子状態を作り出すことに成功しキラル合成に成功したと発表しました。MacMillan は Scotland の出身ですがアメリカで PhD を取りこの仕事は UC Berkeley でやったものです。この Abzyme (抗体酵素) も関係する分野は本会でも何度か話題提供して頂いている酵素学の大家鈴木春男先生にいずれ解説をお願い出来ればと考えています。

前回は触れた mRNA ワクチンはノーベル委員会が候補を決めた今年 1 月頃はワクチン接種が始まったばかりで当時は効果が未だ十分証明出来ていなかったせいとも報じられていますが、実際は関係した研究者が非常に多くて絞れなかったこともあったのではということもありそうです。出遅れていた我が国のワクチン接種率も急速に上がりつつあり効果も非常に高いように見えます。最近の接種率は関東に絞ると何と 70%以上で群馬県は 77%という世界一じゃないかというくらい我が国では進みました。

前回紹介した *Nature* の Editorial (597 318-324, 16 September 2021) はかなりくだけた非専門家向けの mRNA ワクチン開発の歴史です。非常に沢山の研究者が登場する込み入った話で大勢の登場人物が複雑に絡み合い、結局は mRNA ワクチンのノーベル賞は誰が貰うのかという話になります。未だコロナが出て来ない 2018 年の *Nature Reviews* に非常に詳しい解説があります。「原著も読んだりしないと分からない疑問だらけの解説記事なので時間切れとなってしまいました。次号までに何とかまとめて改めてお話ししたいと思います」などと書いてしまいましたが再びで時間切れとなってしまいました。16 日の定例会でどなたか専門家の方にお話頂ければと思います。

次回定例会は 10 月 16 日に開きます。本当に久しぶりなので皆さまの近況報告と上記のようなコロナの話題 (何故急激に減ったのかとかも含めた) を中心に進めたいと考えています。開始時間を今までの 2 時より早めて 1 時としました。通風を良くしマスク着用の上での軽い飲食も考えています。奮ってご参加お待ちしております。

バイオテクノロジー標準化支援協会（SABS）第105回 定例会

日時：2021年10月16日(土) 13時～16時

場所：八雲クラブ（東京都立大学同窓会）

（渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス10階）

演者：出席者全員

話題：近況、ノーベル賞、コロナなど自由に

八雲クラブではパソコンやプロジェクターが使えます。

定例会会場八雲クラブへの道順：

渋谷駅ハチ公交差点から井の頭通りの坂道の右側を東急ハンズの看板目指して上ります。ハンズの手前で右の急坂を登って行き、坂の途中で左に曲がり新しい高層ビルを右にみながら坂道を登り直ぐ左側にある古いマンションがニュー渋谷コーポラスです。入口奥のエレベーターで10階に上ると直ぐ左隣の部屋が八雲クラブです。

**ご注意：** 定例会は、昨年まで1月～10月まで第4金曜日に開催していましたが、現在は第4土曜日に変更して開催しています。今回は会場の都合で第4土曜日ではなく第3土曜日となりました。なお11月はお休みで12月は第1土曜日（12/4）を既に予約してあります。

このジャーナルはバイオテクノロジー標準化支援協会（SABS）会員だけではなく、広い意味でのバイオテクノロジー関係の方々にも配信しています。現在、このジャーナルを読んで下さる方々は600名近く居られます。殆どの方が奥山先生の関係で先生の広がった人脈に改めて驚いています。ぜひ読者の方々からも話題提供をして下さる方をお待ちしています。また新たに購読希望の方々をご紹介頂ければ幸いです。

当SABSジャーナルのホームページ [https://sabs.sabsnpo.org/sabs\\_j/](https://sabs.sabsnpo.org/sabs_j/) ではジャーナルの最新号を含めたバックナンバーが収録してあります。また創刊号からのバックナンバーは <https://medbiol.sabsnpo.org/EJ3/index.php/MedBiol/issue/archive> に収録しています。またお知り合いの方でこのジャーナルを配信希望の方が居られましたら会員である必要はありませんのでぜひ筆者のアドレス [thiyama@athena.ocn.ne.jp](mailto:thiyama@athena.ocn.ne.jp) に直接お知らせください。

- ① 配信停止希望の方は [thiyama@athena.ocn.ne.jp](mailto:thiyama@athena.ocn.ne.jp) にその旨お知らせください。
- ② 配信先アドレス等の登録情報変更も メールにてその旨お知らせください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録ご希望の方もメール下さい。
- ④ ウェブサイトに関するご意見もメールにて頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会

NPO Supporting Association for Biotechnology Standardization (SABS)

〒173-0005 東京都板橋区仲宿 44-2

URL:<http://sabsnpo.org>.

理事：荒尾 進介、小林 英三郎、田坂 勝芳、松坂 菊生、小川哲朗、川崎博史、檜山 哲夫

監事：堀江 肇

ネット管理：川崎 博史、田中 雅樹